



# Socio express

エクスプレス

社会科教育法

授業実践レポート

「時代を大観し表現する活動」の指導における留意点／二川正浩 ②

「大衆化」をキーワードにした大正時代の授業づくり／南波 純 ④

思考力・判断力・表現力の伸長を旨とした学習指導法／吉村尚記 ⑥

地方自治の単元で「公正」について考える／岩野清美 ⑧

編集部からのお知らせとお願い ⑩

教育出版

# 「時代を大観し表現する活動」の指導における留意点

二川 正浩



●ふたがわ まさひろ／東京家政大学准教授

## ●1. はじめに

筆者が中学校教師のころ、生徒から歴史を学ぶ理由を問われると、「人と人、人と自然とが仲良く幸せに生きていくための知恵を学ぶため」と答えていました。そして、「なぜ人々はそのように行動したのか」、「なぜ社会はそのように変化したのか」という課題に対して、過去と対話をしながら大きな歴史の流れのなかで時代像をつかませる授業を心がけてきました。その点において「時代を大観し表現する活動」には大きな期待があります。

## ●2. 活動への期待と留意点

一つめの期待は、活動が「時代の特色」をキーワードに課題意識をもたせる「導入」から、自分の言葉で表現する「まとめ」まで、単元全体を通して脈絡をもって行われる点です。

【導入】 その時代の特色の究明に向けた課題意識をもつ。
【展開(各中項目の内容)】 その時代の政治の展開、産業の発達、社会の様子、文化の特色などをつかむ。
【まとめ(時代を大観し表現する活動)】 その時代の特色を自分の言葉で表現する。

そのため、授業ごとではなく、課題意識をもとにした全体の構成を考えた教材研究が求められますが、このことは各授業のつながりのなかで教科書の内容を焦点化し、大きな歴史の流れをつかむ学習を充実させると考え

ます。

二つめの期待は、この活動が知識基盤社会やグローバル化のなかで、主体的に課題を解決し生きていく力を育てるために意図された「言語活動の充実」と深い関連がある点です。この点に留意した活動は、目的ではなく手段として、社会科の目標である公民的資質の育成とともに仲良く幸せに生きていく知恵を学び、まとめる活動につながると考えます。

三つめの期待は、この活動が「言葉や図などで表したり、互いに意見交換したりする」多様な活動を通し「コミュニケーションや感性・情緒の基盤」を育てる場になる点です。

一人、ペア、グループ、全体等の活動形態、パンフレット、漫画、討論、新聞、レポートなどの表現方法を生徒の発達段階や生徒の個性に応じて行う多様な活動は、コミュニケーションを通して過去との対話、生徒どうしの対話を深める活動につながると考えます。

## ●3. 実際の活動における留意点

では実際に、どのように指導していけばよいのか、近世を例として考えてみます。

### (1) 導入における課題意識

まず、生徒にどのような課題意識をもたせるかという検討からですが、そのために教師自身が時代の特色をとらえる必要があります。その例として次のキーワードをあげてみます。

中世	武士の世から下剋上の時代
近世	身分制度にもとづく幕藩体制の時代
近代	(前半)産業革命と帝国主義の時代

そのうえで、時代の究明に向けた課題意識としては、「人々が仲良く幸せに生きていたのは、中世と近世のどちらの時代だったのだろう」という課題意識を設定してみます。

## (2)導入の授業(1時間)

課題意識は生徒に考えさせることも可能ですが、ここでは、教師のとらえた時代の特色と課題意識をもとに「下剋上の時代に比べ、身分制度にもとづく江戸時代の人々は幸せであったか考えてみよう」という課題を提示します。その課題から、導入では「幸せ・不幸せ」という視点で、教科書の年表や資料を活用して時代のイメージと自分の考えをまとめさせます。

	「幸せ」	「不幸せ」
政治	安定	幕藩体制・鎖国
産業	産業の発達	貧富の差の拡大
社会	人口増	身分制度
文化	町人文化	特になし

## (3)展開(各中項目の内容)の授業

展開では、中項目の内容を政治、産業、社会、文化をそれぞれ重点的に扱う単元に分類して授業を行い、その変化の理由を考えながら、導入でのイメージと自分の考えについて検証を行い、時代像をつかませていきます。

政治	「泰平の世の土台づくり」など
産業	「将軍のおひぎもと、天下の台所」など
社会	「身分ごとに異なる暮らし」など
文化	「花開く町人文化」など

## (4)まとめ(時代を大観し表現する活動)

まとめとして、次のような活動が考えられます。

- ① 展開での学習内容を活用して、導入でのイメージと自分の考えの検証を行い、あらためて自分の考えをまとめる。
- ② グループ内でお互いの考えを発表し合い、グループとしての意見をまとめる。
- ③ 各グループの代表が、グループの意見を発表する。
- ④ 代表の意見を聞いて、政治、産業、社会、文化の変化によって、江戸時代の人々が幸せであったかを、各身分の立場からワークシートにまとめる。

その際、学級や生徒の実態に合わせて活動形態や表現方法の組み合わせを工夫することが大切ですが、2時間扱いで「泰平の世をもたらした身分制度は是か非か」という論題で、討論させる活動なども考えられます。

## ●4. 終わりに

「時代を大観し表現する活動」の評価は、自分の言葉で表現できたかを見取ることが重要です。例えば、「元禄文化は上方を中心とする町人文化」は単なる説明ですが、「元禄文化は安定した社会を背景に、上方の町人たちを中心に暮らしを楽しむためにつくりあげられた文化」などは、自分の言葉での表現といえます。

この両者の違いは、ある歴史的事実について過去と過去、過去と現在を比較しながら、ある課題意識にもとづいて価値判断を下したかどうかの違いです。この価値判断については生徒の発達段階に留意する必要がありますが、この「歴史を大観し表現する活動」が単なる活動に終わるのか、それとも時代の特色をとらえながら、未来の自分の生き方と社会のあり方を考える下地を育てる活動になるのかは、教師の指導次第といえるかもしれません。



# 「大衆化」をキーワードにした大正時代の授業づくり

南波 純



●なんば じゅん／山形県鶴岡市立鶴岡第二中学校

## ●1. はじめに

今春から実施され始めた学習指導要領では「近現代史学習の重視」がうたわれている。今回、大正時代の特色を表すキーワードとして「大衆化」を位置づけ、これを軸として単元全体の構成を組み、時代像をとらえていく授業を目ざした。

## ●2. 「みんな」をキーワードに

各時代の文化の扱いについて、教科書ではその時代の最後の部分に位置づけられている。わたしはこれを組み替えて、大正デモクラシーの前に当時の文化を取り上げるようにしている。大正デモクラシーの特徴の一つに「民衆の参加」があり、背景に「教育や文化の大衆化」があげられるためである。

## ●3. 授業実践：「大正時代の文化」

以下に、実践の一部を紹介する。

発問：「次にあげるものに共通することは何でしょうか。」

板書：「キャラメル・コロッケ・とんかつ・カルピス・カレーライス・野球・映画・ラジオ」と書く。一つずつゆっくり書きながら、生徒のさまざまな発言を拾うようにする。

発問：「どれも大正時代に登場したり、人々の間に広がったりしたものです。では、なぜこれらが人々の間に広がったのでしょうか。」

説明：「明治時代の後半、小学校の就学率が100%近くにも達したことを学習しました。

大正時代に入ると、さらに多くの人々が読み書きをできるようになり、新聞や雑誌などを読む人が増えました。それにとまって、雑誌や新聞の広告などを通して、新しい食品などが人々に知られるようになったのです。さらに、映画やラジオの普及を通して、文字が読めない人にも映像や音声によってさまざまな情報が伝わるようになったのです。」

板書：「文化の大衆化」＝「みんなが・みんな」で示す。

## ●4. 「改造」のうねり

次に大正デモクラシーを取り上げる。ここでも「みんな」をキーワードにする。

例えば普通選挙運動や社会運動の担い手は、吉野作造を代表とする政治学者、地域の有力者、農民、都市雑業層といわれた人々、女性など、明治時代の自由民権運動と比べより広範である。労働運動や小作争議の発生、全国水平社の設立など、いずれも「みんな」が主体となっているといえる。例えば、平塚らいてうたちが設立した新婦人協会の活動により、女性の政治集会への参加を実現させるなど、女性も社会を「改造」しようと動き出した時代である。さらに1918年の夏に発生した米騒動は、富山の漁村の女性たちの蜂起に始まり、参加者が70万人を超えたといわれる。住井すゑの小説「橋のない川」は映画

化され、作中で米騒動の様子も描かれている。差別を受けていた人々を含む当時の民衆が大阪の米屋を襲撃するシーンは見応えがある。

ここでも「みんな」がキーワードとなる。

## ●5. ロシア革命と民族運動

1917年のロシア革命の動きは、アジア諸国さらに全世界に影響を与えた。

1919年3月、作家の徳富蘆花は旅先のエジプトで、ホテルのバルコニーからエジプト人の大示威運動を目撃する。2万人以上の行列を目の当たりにした蘆花は、体がぶるぶる震えて涙を流すほど感動し、当時日本の植民地であった朝鮮のことに思いをめぐらした。朝鮮の三・一独立運動、中国の五・四運動など、グローバルな動きや関係性をとらえられるように指導したい。

また、2010年、チュニジアで反政府運動が高まり、長期の独裁政権が打倒された「ジャスミン革命」は記憶に新しい。これに刺激された民主化運動は、現在も周辺の中東地域に波及している。現代の世界情勢が類似していることにも気づかせたいものである。

## ●6. 最初の「総力戦」

「みんな」というキーワードは、第一次世界大戦にもあてはまる。第一次世界大戦は、人類史上初の総力戦による戦争である。戦死者は約900万人、負傷者は約2,000万人などともいわれているが、これらの数字には民間人は含まれていない。実際には、多くの市民が砲弾にさらされるなどの戦闘に巻き込まれ、飢餓と貧困のなかで犠牲となっている。

NHK制作のDVD『映像の世紀 第2集～大量殺戮の完成～』では、初期の戦車、戦闘

機、毒ガス兵器などが登場した経緯が解説されており、こうした新兵器の登場によって、いかに多くの市民が犠牲になったのかを理解することができる。また、イギリスなどが動員した植民地兵も登場する。生徒たちには、第二次世界大戦に比べて第一次世界大戦についての認識が薄い傾向がうかがえる。第一次世界大戦の特色をつかませるには、こうした映像教材の活用はきわめて有効である。

## ●7. カルピスと関東大震災

映像教材としては、1923年の関東大震災を記録した映像も活用したい。2011年に発生した東日本大震災と重なるものがあり、防災のための教訓として多くのことを教えてくれる。

大正時代にカルピス社が開発した「カルピス」は、関東大震災の被災者救援のために無償で提供された。これにより、商品名が一気に人々に知れ渡ることとなった。また、救援活動に携わった軍部が被災者からの尊敬を集めるようになり、それが後の軍部の暴走を許す一因となったという説もある。

## ●8. おわりに

大正時代は指導する側にとって、やや扱いにくい單元ではないだろうか。しかし、教科書の單元構成を組み替えたり、当時の貴重な映像を活用したりすることでダイナミックな授業が展開できる。歴史学習は「暗記もの」などとよばれる。しかし、多くの資料や記録、特に映像資料が残る近現代史から学ぶべきことは多い。単なる知識の暗記ではなく、100年ほど前の生きた教訓を子どもたちに伝える授業にしていきたいものである。

# 思考力・判断力・表現力の伸長を旨とした学習指導法 ～討論を通して、時代を大観し表現する

吉村 尚記



●よしむら なおき / 神奈川県川崎市立南管中学校教諭

## ●1. はじめに

本年度から全面実施となった学習指導要領では、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等及び学習意欲を重視することが規定されている。そこで本実践では、内容(1)に示された「歴史のとらえ方」単元における「時代を大観し表現する活動」を意識して行った。明治維新のさまざまな政策や外交の学習を終えたのち、岩倉使節団帰国後の藩閥政府の対応についてディベートの手法を取り入れて討論した。その当時の世界の状況、国内の様子などから、広い視野で当時の日本の状況を検証し、急速に国内整備を進めた背景を深く考えさせることを目標として実践を行った。

## ●2. 具体的実践

### (1)ディベート形式の討論会

本来ディベートは、自分の陣営の説を理論づけて説明し、相手の陣営を論破することを目標にして行われる。立論、尋問、反駁の手順をふみ、最後に説得力のある側が勝利となる。ただ、歴史的分野の授業でこの手法を用いるときには、史実一つしかないのも、政策の是非や出された背景、当時の人々の状況などを考えさせる課題設定が必要となる。理論づけた説明ができるかどうかに加えて、一つの史実に対して多面的・多角的な見方や考え方ができているかどうかが重要となる。生徒の思考を促し深める課題設定ができれば、思考力・判断力・表現力を身につける手法としてはかなり効果がある。こ

の授業で重視しているのは勝敗ではなく、あくまでも討論により、多面的・多角的な思考力をもたせることである。

一方でマイナス面もある。授業で扱うときには、発言の得意な生徒ばかりが意見を述べてしまい、その他の生徒が傍観者になってしまうことも十分考えられる。そこで、全員が授業に参加できるようにするための工夫が必要となる。そこで次の5点を取り入れた。

- ①各自で考えた案を班でまとめて、ホワイトボードに記入する。このボードを立論のときにも使用し、尋問のときにも参照できるようにする。
- ②司会は教師が行い、多くの生徒に発言させる。また、時間配分や論点の違う意見を修正する。
- ③途中で全体に思考を深めさせる質問をして挙手をさせたり、司会が指名して発言させたりする。
- ④最後の反駁のときに、それまで発言していなかった生徒に討論をふまえての意見を聞く。
- ⑤発言が苦手な生徒の学習の深まりを見取るために、記録用紙の記述を検証する。

こうした工夫を加えることで、授業に参加しない(できない)生徒をつくらずに授業を展開することができる。

### (2)実践の様子

中単元「明治維新」(10時間)を、小単元「明治政府の政策」(4時間)、「明治政府の外交」(2時間)、「武力から言論へ」(2時間)、「立憲政治の確立」(2時間)とした。本実践では、「明治政府の外交」を次のように計画した。

- ・第1時 岩倉使節団の条約改正交渉
- ・第2時 使節団帰国後の政府の対応

第1時では、岩倉使節団が送られた時期が、さまざまな政策が出された時期と重なっていることや、当時の藩閥政府の約半数の役人が参加していることから、国策の最優先課題であったことを理解させた。さらに、当時の外国の国力の状況から、改正交渉が失敗に至った原因を理解させ、国内整備を優先する使節団と征韓論を唱える国内待機組の対立を伝えた。「当時の状況のなかで、どちらの政策を取り上げるのが日本の近代化を進めることになるのか」というテーマを立て、自分の考えをまとめさせた。

第2時では、ディベート形式の討論会を行った。立論(各5分)、尋問(各15分)、反駁(各2分)、まとめ(6分)の時間を設定し、時間内に自分の陣営の主張を理論づけて説明できるかで勝敗を決めることを伝え、挙手をして発言させた。

討論では、征韓論を実施したときの国内の状況と諸外国の対応に意見が集中した。そして、征韓論の実施が日本の国力を高めるかが焦点となった。授業の最後に討論会の評価を下し、実際の明治政府は国内整備策を優先したことを資料から確認した。当時の国際情勢や日本の財政難の状況をふまえて、国内整備策が促進されたことを、より深く理解することにつながった。

### ●3. 終わりに

実施が始まった学習指導要領では、旧学習指導要領での内容の3割削減が学力不足を引き起こしたという批判から、基礎的・基本的な知識や概念の習得が強調されている。このことから、知識を暗記すればよいととらえる向きも増えている。今回の学習指導要領では、基礎的・基本

#### 討論会の流れ

##### 国内整備側立論

- ・国内整備をした後でも、朝鮮への侵略は可能。
- ・国内整備をしている間に、兵力を上げることも可能。

##### 征韓論側立論

- ・国内整備には時間もお金もかかり、その間の庶民の暮らしは辛くなる。一揆が多発する。欧米諸国の力もさらに強くなり、日本との差が開く。
- ・朝鮮を支配することで、国内にお金が入り、そのお金で国内整備ができる。

##### 征韓論側尋問

- ・国内整備をしている間に他国は、もっと力をつけてしまうのではないか。
- ・軍事力を高めるためには多額の費用がかかるのではないか。

##### 国内整備側尋問

- ・弱いアジアの国同士の間で勝利しても、欧米は認めてくれないのでは。
- ・朝鮮に勝っても、戦争後はお金がなくなり支配することができなくなるのでは。

##### 国内整備側反駁

- ・確実に勝てるように地道に国力を上げていった方がよい。
- ・戦争をすれば、使節団に多額の資金を使っているのに、日本はさらに財政難になる。

##### 征韓論側反駁

- ・朝鮮を攻めることで、不満を持っている人をまとめることができる。
- ・早く諸外国に追いつくためには、植民地が必要。

④ 図1. 討論会で出た主な意見

- ・討論会の前は征韓論派だったけど、討論会により、国内整備を優先したほうがよいと思いました。国内を安定させてから征韓論を行わないと、朝鮮を倒しても中国をはじめとする他国と戦うことになってしまうからです。
- ・やはり征韓論が必要だと思います。国内整備は安全だし安定しているけど、不平等条約を改正しない限り、財政難から抜けられないからです。他国との差も開くし、他国に攻められる危険性もあるからです。

④ 図2. 討論会を終えての記述

的な概念が明示され、その概念を身につけるために探究的な学習活動を計画的に配置することが求められている。そうした学習活動により、身につけた知識を活用したり、新たな考えを導き出したりすることができるようになるからである。知識を活用する実践を重ねることで、生徒の暗記に対する考え方も変えることができる。本実践で提案したディベート形式の討論会は、「生徒自身が身につけた知識を活用して導き出した考えを、他者の考えを加えて再考する」という探究的な活動が含まれている。歴史の一場面に生徒の思考をタイムトリップさせ、時代を大観させる手法として、たいへん効果がある手法であると考えられる。



# 地方自治の単元で「公正」について考える ～「どうなる？ どうする?! 貴志川線」の実践を通して

岩野 清美



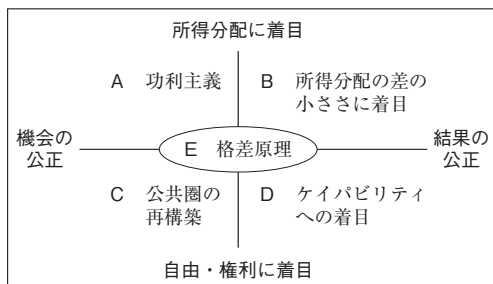
●いわの きよみ/和歌山大学教育学部講師

## ● 1. はじめに

本年度から実施され始めた学習指導要領では、「現代社会をとらえる見方や考え方」として、「対立と合意、効率と公正」が概念的枠組みの基礎として示された。これらの「見方や考え方」は、「現代社会」単元以降の政治、経済、国際社会の各単元において「活用するとともに、繰り返し吟味して、さらに広く深く成長させていくこと」が求められている。本稿で紹介する実践は、「社会をとらえる見方や考え方」としての「公正」について、生徒が自らの考えを吟味、成長させることをねらいとしたものである。

## ● 2. 「公正」とは何か

学習指導要領解説では、「『合意』の内容の公正さ」について検討する学習活動が求められている。しかし、「『公正』とは何か」という問いに対する回答は一つではない。下の図は、「所得分配における公正」に関する五つの代表的な考え方についてまとめたものである。



① 図 1. 所得分配における公正についての考え方

これらの「所得分配における公正」についての考え方をもとに、授業開発と実践を行った。

## ● 3. 授業実践について

今回紹介する授業は、和歌山大学教育学部附属中学校で2011年11月に実践されたものである。

「地方自治」の単元で、和歌山電鐵貴志川線を教材として取り上げ、授業を構成した。「たま駅長」で全国的に有名になった貴志川線だが、運営していた南海電鐵が2005年に撤退し、事業を継承したのが和歌山電鐵である。いったんは廃止が決まった貴志川線の存続に向け大きな影響を与え、また、永續に向け経費削減、乗客増加、まちおこしなどの活動を行っている地域の人々のすがたをとらえさせた。前時までに、これらの人々を通じて、「自分たちの地域の課題は自分たちの意思と責任で解決していく」という住民自治の原則について、生徒たちは学習している。

本時では、なお年間8200万円の補助が、和歌山市と紀の川市から和歌山電鐵に対して実施されている事実を知り、「今後、貴志川線をどうするか」について話し合う。討議を経て、生徒が自らの「公正」についての考えを吟味、成長させることをねらいとしている。

討議のなかで生徒が検討する貴志川線の未来に関する意見は、次の六つである。



- A 貴志川線は廃止。補助金に使っていたお金を、和歌山市、紀の川市全体のために使う。
- B 貴志川線は存続。駅を増やし、駅までのアクセスをよくして、誰でも使いやすいようにする。
- C 貴志川線は存続。本数を増やし、和歌山市内の公共交通機関も充実させる。
- D-1 貴志川線は存続。まちおこし等のイベントを増やし、人々に楽しみを提供する。
- D-2 貴志川線は存続。貴志川線の駅をきれいにしているNPOなどへの補助を増やす。
- E 貴志川線は廃止。補助金に使っていたお金を使って、ハンディキャップのある人にタクシーチケットを配布する。

① 図2. 貴志川線の未来に対する提案

上記の六つは、教材研究中に取材に応じてくださった方のお話から、図1中A～Eに対応するものとして、教師が設定した。

#### ●4. 授業の実際

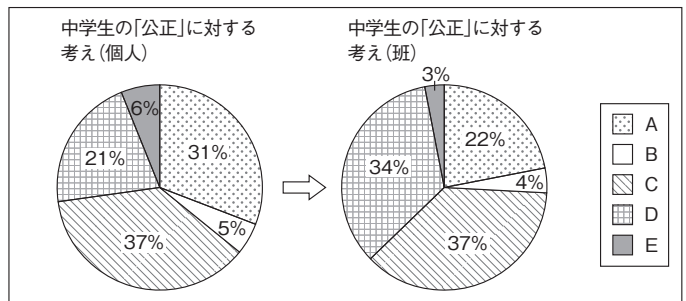
教師側が提示した貴志川線の未来に対する六つのプランを知ったあと、生徒は自分の考えに最も近いものを選び、その理由を考えた。その後、班別に検討し、自らの考えの吟味という学習活動を行った。

生徒たちの話し合いの様子を図3に、個人での意見と班での意見を図4に示す。

図4は、望ましいプランを判断する理由が、図1中A～Eのどれにあたるかを個人と班で選ばせたときの変化である。班での話し合いを通して、生徒の「公正」に対する考え方は、A. 功利主義が減少し、D. 個人の自由や権利に着目するケイパビリティを重視する考え方が増加している。学習活動を通して、全体の6割近い生徒が望ましいプランを選択する規準を変えており、生徒が自分の「公正」に



① 図3. 生徒たちの話し合いの様子



① 図4. 話し合いによる生徒たちの意見の変化(A～Eは図1に対応している)

対する考え方について、話し合いを通して吟味することができたことがうかがえる。

#### ●5. 成果と課題

本研究の成果は、「公正」に対する考え方について、生徒たちが地域の課題という具体的な事例をもとに吟味する授業を提案したことである。

課題は、単元構成に関するものである。地域の課題を中心に単元全体を設計すれば、地方自治の課題についてより身近なものとして生徒たちにとらえさせることができたのではないかと考えている。

最後になったが、本稿執筆のために貴重な実践を提供していただいた和歌山大学教育学部附属中学校の山口康平先生に心よりお礼を申し上げたい。

# 編集部からのお知らせとお願い

平成24年度用教科書に、訂正のうえでご指導いただきたい箇所がございます。  
誠に恐縮に存じますが、ご指導の際には、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

## 【地理的分野】

ページ	行	原文	訂正文
本扉		〔「点字」のサイズが縮小〕	〔サイズをJIS規格標準に訂正〕
13	下囲み	5年用(青色)と10年用(赤色)	5年用(紺色)と10年用(えんじ色)
42	側注下グラフキャプション	国民総生産	国内総生産
53	左地図キャプション	独立した国の国名を○で囲み、その数を数えてみよう。	独立した国の数を数えてみよう。
69	右地図	〔縮尺の数値〕 1000km	100km
98	地図	〔国名〕 ミクロネシア	ミクロネシア連邦
109	側注囲み	328.7万km	328.7万km <sup>2</sup>
141	上図	〔人口ピラミッドの三区分の説明 「65歳以上」「15～64歳」「0～14歳」が脱落〕	
148	右上地図	アンカレッジ ウースン カオルン	アンカレジ シャンハイ ホンコン
162	側注下写真キャプション	〔かごしま黒豚〕	黒豚
162	9～10	〔かごしま黒豚〕 <sup>4)</sup>	〔4〕を削除
169	左上地図	〔隠岐諸島の縮尺〕 50km	20km
184	17	西回り、東回りの航路	西まわり、東まわりの航路
187	上写真キャプション	京町屋	京町家
188	10	堺・泉北工業地域や播磨工業地域	堺・泉北臨海工業地域や播磨臨海工業地域
189	右地図	堺・泉北工業地域	堺・泉北臨海工業地域
214	8	〔京葉工業地域の参照ページ〕 ←p.198	←p.147
224	上写真ネーム	2008年	〔削除〕
229	地図	〔越後上布のルビ〕 じょうえつじょうふ	えちごじょうふ
234	地図、右写真キャプション	〔参詣道のルビ〕 さんけいどう	さんけいみち

## 【歴史的分野】

ページ	行	原文	訂正文
本扉		〔「点字」のサイズが縮小〕	〔サイズをJIS規格標準に訂正〕
57	地図	〔甲斐と相模の国の境が脱落〕	
60	上囲み	現在の清水町	現在の有田川町
64	3, 4	〔参照ページ ←p.63の位置〕	〔3行め 「使者」の下に移動〕
93	右上写真キャプション	安土町城郭史料館	安土城郭資料館

## 【公民的分野】

ページ	行	原文	訂正文
口絵1	右下写真キャプション	ニューオリンズ	ニューオーリンズ
本扉		〔「点字」のサイズが縮小〕	〔サイズをJIS規格標準に訂正〕
44	導入囲み	〔らい予防法〕(1958年制定)	〔らい予防法〕(1953年制定)
51	写真キャプション	↑③ストライキ	〔③を削除〕
63	上グラフ下グラフ	あまり必要ではない 57.4 強い不安感がある 7.2%	2.0 7.3%
103	4	憲法第79条では	憲法第81条では
109	左上表	〔ルビ「しせつ」が、「処理」の上に配置〕	〔「施設」の上に配置〕
116	問題①-(1)	どちらの議院が先に	どちらの議院へ先に
194	左上写真キャプション	〔黒い表紙〕 (赤い表紙)	〔紺色〕 (えんじ色)

また、平成22・23年度用教科書『中学社会 歴史 未来をみつめて』に、訂正のうえでご指導いただきたい箇所がございます。誠に恐縮に存じますが、ご指導の際には、併せてご留意くださいますようお願い申し上げます。

ページ	行	原文	訂正文
137	側注①	16歳未満	15歳未満



教科書準拠 教授用ソフトシリーズ

ともに**学ぶ** ともに**考える**

# 中学社会 デジタル教科書



授業支援ツールとして、  
活用しやすいデジタル教科書を作成しました。



地理・歴史・公民、  
全3巻・DVD-ROM, Windows版

各分野 本体 60,000円＋税  
※同一校に限り台数無制限で利用可能の、  
「学校フリーライセンス」価格です。

## 中学社会 DVD

各 本体 15,000円＋税  
各 20～30分

- 地理** 世界の人々の生活と環境  
世界からみた日本のすがた
- 歴史** 現代の日本と世界
- 公民** 国際社会に生きる - 持続可能な未来へ



【表紙写真】登山鉄道のインターラーケン東駅から眺めたヴェッターホルン(3,701 m)。駅のあるグリンデルワルトの街はU字谷の谷底に位置している(上写真)。アルプス山脈で最大の規模をもつアレッチ氷河の頂上部。地球温暖化の影響は氷河の後退として現れている(下写真)。(2010年 スイス)

中学社会通信 Socio express (2012年 春号)

2012年3月30日 発行

編集：教育出版株式会社編集局  
印刷：大日本印刷株式会社

発行：教育出版株式会社 代表者：小林一光  
発行所：教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 電話 03-3238-6864 (お問い合わせ)  
URL <http://www.kyoiku-shuppan.co.jp>



### なかよし宣言

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技術の進展や国際化、情報化、高齢化などによって、今、大きく変わろうとしています。このような社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆる命がのびのびと生きていくためには、人や自然を大切にしながら、共に生きていこうとする優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」というコンセプトワードに込め、社会のさまざまな場面で人間の成長に貢献していきます。

- 北海道支社** 〒060-0003 札幌市中央区北3条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F  
TEL: 011-231-3445 FAX: 011-231-3509
- 函館営業所** 〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一生命ビルディング 3F  
TEL: 0138-51-0886 FAX: 0138-31-0198
- 東北支社** 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F  
TEL: 022-227-0391 FAX: 022-227-0395
- 中部支社** 〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F  
TEL: 052-262-0821 FAX: 052-262-0825
- 関西支社** 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F  
TEL: 06-6261-9221 FAX: 06-6261-9401
- 中国支社** 〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2  
あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F  
TEL: 082-249-6033 FAX: 082-249-6040
- 四国支社** 〒790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F  
TEL: 089-943-7193 FAX: 089-943-7134
- 九州支社** 〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-49 ヒューリック福岡ビル 8F  
TEL: 092-781-2861 FAX: 092-781-2863
- 沖縄営業所** 〒901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F  
TEL: 098-859-1411 FAX: 098-859-1411